

にしじんこうぼう 西陣工房だより

社会福祉法人 京都西陣福祉会
障害者多機能型事業所 西陣工房
〒603-8333 京都市北区大將軍東鷹司町 109-1
☎(075)462-9101 Fax(075)468-9122 mail info@nishijinkoubou.com



雪化粧の富士山をバックに国立中央青少年交流の家にて R7.2.23

【3月の予定】

- 3月1日(土)ウクレレサークル 10時～12時
- 3月2日(日)京都卓球バレー協会交流大会 (京都市障害者スポーツセンター)
- 3月19日(水)、20日(木 祝)西陣工房オープンデー

【来月以降の予定】

- ◆4月12日(土)イオンマルシェ(イオンモール KYOTO)
- ◆4月26日(土)全国障害者スポーツ大会滋賀大会出場チーム選考会
- ◆4月29日(火 昭和の日)第1回西陣工房ウクレレコンサート(京都府民ホールアルティー)
- ◆5月4日(日)～6日(火)春合宿 岡山県吉備青少年自然の家
- ◆5月11日(日)京都障害者施設卓球バレー大会兼全国交流大会



●3月1日(土)ウクレレサークル 10時~12時

4月の府民ホールアルティでのコンサートに向けて練習していきます。現在ユーチューブにドレミの練習2本を含め、練習動画 18 曲をアップしています。本番まであと 2 ヶ月です、各自の練習が最も重要になってきます、みんなで舞台上がれるよう一人一人しっかり練習してください。保護者の方のご協力よろしくお願いたします。

●3月2日(日)京都卓球バレー協会交流大会 (京都市障害者スポーツセンター)9:40~16:00

障害の有無を問わず誰でも参加出来る大会です。大会全体は37チームの参加で、西陣工房は利用者2チーム、保護者1チーム、職員1チームの4チームで参加します。全チームが午前2試合、午後2試合行います。開会式は9時40分、試合開始10時ですので遅れないようお願いします。昼食も各自で持ってきてくださいね。



●3月19日(水)、20日(木)祝)西陣工房オープナー 19日(水)13:00~16:00、
20日(木)10:00~15:00

今年も西陣工房保護者や進路に関わる学校関係者や福祉関係者、一般市民を対象に西陣工房を知ってもらうためのオープナーを開催します。

内容は、施設見学、ものづくり体験、製品販売、喫茶コーナー(有料)、ミニコンサートなどです。詳しくは、後日お配りする別紙ちらしをご覧ください。

●令和7年度の利用契約手続きをお願いします。

令和7年度が始まりますので、7年度の利用契約を結びます。3月中旬ごろに契約書(二部ずつ配布)と緊急時の連絡先の書類をお渡ししますのでよくお読みいただき、記入カ所に記入の上、押印して一部を4月10日までに返却していただきますようお願いいたします。



【先月のできごと】

- 2月1日(土)ウクレレサークル 利用者11名参加
- 2月3日(月)おにぎり定食nishijin オープン
- 2月11日(火)祝)保護者会親睦会 利用者・保護者20名参加
- 2月22日(土)~24日(月)祝)冬合宿 国立中央青少年交流の家(静岡県御殿場市)

●2月3日(月)~おにぎり定食nishijin オープン

2月3日から1階のオープンスペースを利用しておにぎりセットの販売を始めました。今のところは、ご近所の方や通りすがりの方が来て下さっていますが、まだまだお客様は少ないです。利用者にとって接客や給仕は慣れないため、言葉に詰まったり、運び方が危なっかしくたりと毎日苦戦しながら頑張っています。

これからは徐々にメニューを増やしたり、季節に合わせたものを提供できるように1歩ずつ利用者と一緒に成長出来たらいいなと思っています。握りたてのおにぎりとお具沢山の豚汁をご用意しておりますので、お誘い合わせの上ご来店をお待ちしております。



【おにぎり定食】

- 京都産米のおにぎり
- 具だくさん豚汁
- 利用者が丁寧に焼く絶品だし巻き卵
- 手作り小鉢 2品

●2月11日(火 祝) 保護者会親睦会 利用者・保護者 18名参加

夏の企画は台風で、FUNAOKAスタンダードも雨で流れたため 2月にして今年度初のイベントとなりました。内容は百人一首や来月に迫った卓球バレー大会の練習を良い雰囲気を楽しみました。参加者が少なかったのが残念でした。



保護者と卓球/バレーを楽しむ R7.2.11

●2月22日(土)～24日(月 祝)冬合宿 国立中央青少年交流の家(静岡県御殿場市)利用者13名参加

3日前が大雪で、今日も通行止めがあるかも知れないという不安がありました。幸いにも定刻で東名御殿場のバス停に到着。分厚い雪を被った大きな富士山が迎えてくれました。「～ここぞ御殿場夏ならばわれも登山をころもみん～」と鉄道唱歌に歌われた御殿場市は広大な富士山の裾野を持つことで、軍事演習に適した地として自衛隊や米軍の基地が存在します。今回合宿を実施した国立中央青少年交流の家は、元米軍基地があった土地で、それが昭和34年に払い下げられ、その跡地が青少年の健全な育成のための施設として発足しました。現在全国に28ある施設のここは第1号です。



早朝の散歩(交流の家グラウンドにて) R7.2.23

今回の合宿は好天に恵まれ、雪を頂いた雄大な富士山を見ながら、久しぶりにグラウンドゴルフを楽しみ、最近よくやるようになったオリエンテーリングを競い、そしてコンサート本番を2か月後に控えてウクレレの練習にじっくりと取り組みました。

グラウンドゴルフはルールが簡単で、参加者全員がかなり能動的に参加していることが嬉しいですね。スコアは決してよくありませんが、アーチェリーと共に、非常に分かりやすい貴重な種目だと思います。ここは専用のグラウンドゴルフ場があり、非常にやりやすかったですね。これで地元大將軍の老人会からの誘いにも応じられるかも知れませんね。

オリエンテーリングは地図に書かれたチェックポイントを探して、そのチェックポイントに書かれた文字(解答)を解答用紙に記入して、できるだけ沢山のチェックポイントを探して得点を競う競技です。チェックポイントごとに得点が違いますので、高得点のチェックポイントを優先的に狙うことも求められます。地図が読める人、チェックポイントを積極的に探せる人、ただ歩くだけの人、様々ですが、4～5人のチームに分かれて、チームワーク、そしてリーダーシップ、意志決定能力などが試される競技です。交流の家周辺の山林や畑、集落をたっぷり3時間歩き回りました。歩いたのは約2万歩、ミニスポーツデーとなりました。

そしてウクレレは、ユーチューブに上げている曲を中心に仕上げました。これも個別で主体的に練習する姿勢が最も重要で、自前で4本の弦のチューニングを行い、ユーチューブの練習動画を利用して自前で練習して自分のパートがマスターできているという前提がクリヤしておれば、全体での曲作りが大変楽しいものになりますが、自分のパートが不安定だとそこに時間を費やしますのでなかなか曲作りができません。既に演奏会本番で演奏する曲の半分くらいは仕上がりが段階にありますが、残り2か月で若干の新曲をこなしつつ、本番に対応していきたいと思えます。そのためには定例のレッスンのみならず、まとまった時間をもっともっと欲しいですね。貴重なレッスン時間でした。(河合)

いとく さぎょう 糸繰り作業

こんげつ いとく さぎょう きんきょう はな おも げんざい いとく さぎょう めい りようしゃ しごと
今月は糸繰り作業の近況をお話したいと思います。現在、糸繰り作業は8名の利用者で仕事をして
おります。糸繰り作業をしているのは5名、糸繰り、枠替えや糸留めなどの下回り作業の両方をしている
利用者が3名です。

とりひきさき ぎょうしゃ せいけいや じゅちゆう いと さくねんまつ ふだ ことし 1がつちゅうじゅんころ
取引先の業者(整経屋など)から受注する糸は昨年末ごろから増え出しおり、今年の1月中旬頃から
かなりの数量の糸を受注しています。取引先から多い時には300~450繻(スガ=かせ)の糸を受注
します。受注した糸を置く棚には3000~4000繻以上の糸が置かれている状況が続いています。
まいにちりようしゃ いっしょうけんめい いとく わく ま お いと とりひきさき のうひん つぎ いと はい
毎日利用者が一生懸命に糸繰りをして、枠に巻き終わった糸を取引先に納品しても次の糸がすぐさま入
って来る様な状況が続いており、なかなか減らないと嬉しい悲鳴を上げています。



あた どりひきさき ふ しょくにん こうれいか しょくにん げんしょう げんじょう
新しい取引先も増えてきています。職人の高齢化などから職人が減少しているのが現状です。そんな
現状のなか西陣工房を他所から紹介されて糸を持ち込まれる取引先もあります。期待をされている
にしじんこうぼう いま いとく で き にんずう こんごさら ふ い すうりょう たいおう で き
西陣工房ですが、今の糸繰りが出来る人数では今後更に増えて行くであろう数量に対応出来なくなるか
もしれません。そこで新たに糸繰りが出来る利用者の育成に取り組んでいます。まずは糸繰り作業で必須
となる”糸結び”の練習を始めました。現在は全員が、”糸結び”が出来ています。”糸結び”が
出来るようになった利用者は次のステップとして”糸集め”を覚えてもらいます。”糸集め”とは整経後に沢山の
枠に少し残った糸を結んで一つの枠に集める作業です。残った糸の糸口を見つけて解けない様に”糸
結び”をして巻き取り集めていきます。結び目が解けない様に結ぶのは当然ですが、巻き取るのはなかなか
根気のいる作業となり、利用者は作業に対する集中力も必要となってきます。次のステップは
ほんかくてき いと く あら めい りようしゃ いと はた ごこう いと ととの ひびろ き
本格的に糸を繰ります。新たに2名の利用者に”糸を叩く”、”五光にかける”、”糸を整える”、”ヒビロを切
って糸口を出して枠に巻く”の糸繰り一連の作業が出来るように日々習得に励んで貰っています。最初
は恐々とした手つきでしたが、日に日に慣れた手つきで作業をされています。ゆっくりですが日々成長を
つづ くりようしゃ みな
続けている利用者の皆さんです。

しょうらい にしじんこうぼう いとく にな じんざい せいちょう おも
将来の西陣工房・糸繰り作業を担ってくれる人材に成長してくれればと思います。

(畑)